PLUS

Captureboard C-12シリーズ PLUS TOOL BOX

ソフトウェア操作説明書



この度は弊社の製品をご購入いただきまして、誠に有難うございます。 キャプチャーボードC-12シリーズの付属ソフトウェア PLUS TOOL BOX に関して、機能 を十分にご活用いただくために、ご使用前に本紙ソフトウェア操作説明書をよくお読みく ださい。なお、お読みになった後も必ず保管してください。

														1			11									11																				11	
							12									1										11																				11	
						4	1							12			11									11													1							11	
		14	4						7					1			11									11																				11	
			4				77		71																	11																				11	
						I	17		$\overline{\mathbf{v}}$								17																													17	
				77		77		12	•								11									11																					
44	11				1					1	4			17	17	1	117	17				1				11			1		1		1		1	1								1		11	

はじめに	З
ソフトウェアPLUS TOOLBOXとは	З
動作環境	З
著作権・使用許諾	4
各機器との接続	5
付属CD-ROMのメニュー画面(C-12 setup launcher)の内容	5
ソフトウェアのインストール	6
インストールの前のご確認	6
PLUS TOOLBOXのインストール	6
PLUS TOOLBOXのアンインストール	8
メニュー画面の名称とはたらき	9
メニュー	9
合成画像表示画面	11
基本の操作	13
キャプチャー画像を合成する	13
キャプチャー画像を微調整する	17
キャプチャー設定	18
機器設定	20
ヘッダー/フッターの作成と編集	23
画面各部の名前と働き	23
ヘッダー/フッターを新規作成する	26
本機内蔵のヘッダー/フッター情報を更新する	29
本機内蔵のプログラムを更新する	31
セキュリティの設定について裏表	紙

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。 その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4)本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 別売品のプリンタは本機の周辺機器として使用されることを前提としておりますので、パソコンと直接接続して使用す る場合の動作保証はいたしておりません。
- (6) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

はじめに

ソフトウェア PLUS TOOL BOX とは

キャプチャーボードの読み取りデータをTWAINドライバを使いイメージ画像として取り込んでからパソコン上 でプロジェクタの投影画像と合成し、画像データとして保存することができます。

プロジェクタの投影画像とキャプチャーボード読み取りデータの位置合わせは、キャプチャーボードのシート 面上にマークされたプロジェクタ投影位置情報を検出して、自動で簡単に位置決めできる機能付きです。

また、パソコンから本機の動作環境やセキュリティの設定を操作したり、ヘッダー/フッターを作成して本体 に格納することもできます。

※本書では、TOOLBOXを本ソフトウェア、キャプチャーボードを本機(または本体)と記載する場合もあり ます。



ご注意

- 本ソフトウェアは会議記録の保存を目的としています。正確なカラーや画質を再現して保存することはできません。
 また、読み取りデータの自動位置合わせ機能は、正確な位置合わせ動作を保証するものではありません。
- ソフトウェア「PLUS TOOL BOX」は、コピーボード(キャプチャーボードを含む)の統合ソフトウェアです。
 ※ キャプチャーボード本体を組み合わせてご使用いただくことにより、プロジェクタの投影画像と合成が可能となります。

動作環境

対応OS:	Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack 4以上) /
	XP (Home Editiom /Professional Editiom Service Pack 2以上) /
	Vista(32bitバージョン)
対応PC:	上記OS が動作するIBM PC/AT 完全互換機
CPU:	Pentium II 1.2GHz 以上のプロセッサ
メモリ:	Windows 2000 (128MB以上)、
	Windows XP(256MB以上)、
	Windows Vista(512MB以上)
コネクタ:	USBポート(タイプA), インターフェースはUSB1.1および USB2.0 対応
空きHD 容量:	40MB 以上(画像保存領域を除く)
表示解像度:	800 x 600 ピクセル以上
周辺機器:	CD-ROMドライブ、標準のUSBポート
Webブラウザ:	Internet Explorer 6.0以上

ご注意

- 上記の動作環境ですべての動作を保証するものではありません。
- Windows 95/98SE/Me/NT/2000 Server /Server 2003 /Vista (64bitバージョン) には対応していません。



著作権・使用許諾

◆著作権

本ソフトウェアおよび関連著作物の著作権は、プラスビジョン株式会社(以降、弊社)が有し、日本国著作権法 及び国際条約により保護されています。

Copyright (C) Since 2008 PLUS Vision Corp. All rights reserved.

弊社TOOLBOX、ヘッダー/フッターソフトウェアは、独立行政法人情報処理推進機構が提供するフォントを 使用しています。付属CD-ROMの文書ファイルは、その使用に関する使用許諾契約書です。 必ずソフトウェア使用許諾契約をよくお読み頂き同意される場合にのみご使用ください。 ※付属CD-ROM内の文書ファイル「一般利用者向けIPAフォント使用許諾契約書」をご確認ください。

◆免責・保証範囲

本ソフトウェアおよび関連ソフトウェアによる生成物が、直接または間接的に損害を生じたとしても、弊社は 一切の責任を負いません。また、機器や媒体が原因の損害にたいしても、弊社は一切の責任を負いません。 さらに、弊社は本ソフトウェアを使用した結果の影響に関しても、一切の責任を負わないものとします。

◆使用条件および配布条件

- ・弊社は本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じたあらゆる損害について、いかなる責任も負いま せん。
- ・弊社は本ソフトウェアについてのサポート、あらゆる種類の保証、障害の修正やバージョンアップの継続等 のいかなる義務も負いません。
- ・以上に同意する限り、非営利目的での個人利用、社内利用は自由です。
- ・ここにいう「本ソフトウェア」とは実行ファイルだけでなく、ヘルプや添付文書も含むすべての構成ファイルのことです。

◆サポート

質問、要望、障害報告等の声に応えたり、各種の情報提供を行うのを一括してサポートと呼ぶこととし、弊社のサポートの範囲は、本ソフトウェアの機能、操作に限らせていただきます。

本ソフトウェアをご利用される上で生じる問題は、パソコン本体に起因するもの、OSに起因するもの、他の アプリケーションソフトウェアに起因するもの、その他周辺機器に起因するものなど多岐にわたります。よって弊社は、本ソフトウェアに起因する問題のみをサポートするものとします。また、本ソフトウェアは、ハ ードウェアやソフトウェアの技術的進歩により事前の予告なしにバージョンアップすることがあります。お客 様は弊社が定める方法により、本ソフトウェアのバージョンアップ品を受取り、使用することができます。な お、バージョンアップは上記使用条件に同意されたお客様にのみに限られます。

※本ソフトウェアをホームページからダウンロード、またはCD-ROMからインストールしたときをもって、お 客様は各条項に同意したものとみなされます。

各機器との接続

本ソフトウェアを使うには、本機とパソコンとのUSB接続が必要です。

- ご注意
- ●ソフトウェアをインストールする前は、本機をパソコンと接続しないでください。
- ●2台以上のコピーボードを1台のパソコンに接続しないでください。







付属CD-ROMのメニューから [ソフトウェアのインストール]を選択すると 「PLUS TOOLBOX」と 「TWAINドライバ」および「USBドライバ」とがインストールされます。

インストールの前のご確認

- 1. 使用するパソコンが動作条件を満たしているか確認してください。
- **2**. 使用するパソコンと本機がUSB接続されていないことを確認してください。
- 3. インストールの際は、Windows 2000の場合は「Administrator」の権限(管理者権限のあるユーザー) でWindows XP/Vistaの場合は「コンピュータの管理者」の権限(アカウント)でインストールしてく ださい。
- 4. 実行中の他のアプリケーションを全て終了してください。

PLUS TOOLBOXのインストール



自動的にメニュー画面が表示されます。 自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」 をダブルクリックしてください。

「ソフトウェアのインストール」をクリック する。 インストーラが立ち上がります。





[PLUS TOOLBOX] と「TWAIN ドライバ」、「USBドライ バ」が同時にインストールされます。



ソフトウェアのインストール お知らせ • Windows セキュリティ × このデバイス ソフトウェアをインストールしますか? ※ Windows Vistaの場合はWindowsセキュリティダ 名前: Jungo Jungo 発行元: Jungo LTD イアログが表示されます。 「このドライバソフトウェアをインストールします(I)) "Jungo LTD" からのソフトウェアを常に信頼する (A) を選択してください。 バイス ソフトウェアを判断する方法 ※ Windows Vistaの場合はインストーラを起動する度 にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されま

す。「続行」を選択してインストールを続けてくださ い。



(\$U(Y)

いいえ(<u>N</u>)



はじめて、本ソフトウェアをパソコンにインストール した場合は、続けて次の接続と操作を行ってください。

■USBドライバのインストール

インストーラでUSBドライバはパソコンにインストールされますが、USBポートとの関連付けが完了してい ません。PLUS TOOLBOXを使えるようにするには、キャプチャーボード接続時に下記の手順でインストー ルしてください。

進備 1.本体の電源 ① ボタンを押して電源を入れてください。

> 2.パソコンのUSBポートと本体のPC専用USBポートとをUSBケーブルで接続してください。接続 は5ページをご覧ください。

「新しいハードウェアの検索ウイザード」が表示されます.。

「新しいハードウェアの検索ウイザード」に従ってインストールしてください。

ソフトウェアのインストール 新しいハードウェアの検出ウィザード 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)(T)」を選択して「次へ(N))」をクリ このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします PLUS Copyboard ックします (Windows XPの場合)。 ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディ スクがある場合は、挿入してください。 USBドライバのインストールを開始します。 インストール方法を選んでください。 ● いうトウェアを自動的にインストールする (推奨)の
 ● 一覧または特定の場所からインストールする (詳細)(S) (お知らせ) 続行するには、D次へ]をクリックしてください。 ※ Windows2000/Vistaの場合は自動でインストールが完 〈戻る(B) 次へ(W) キャンセル 了します。 「完了」をクリックします。 新しいハートウェアの検索ウィザートの完了 次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました

これで本ソフトウェアが使える状態になりました。



PLUS TOOLBOXのアンインストール

[スタート] → [コントロールパネル] を選択するとコントロールパネル画面が表示 されます。

使用するパソコンと本機がUSB接続されていないことを確認してください。

✔「プログラムまたはアプリケーション(OSによって異なります)の追加と削除」ダ ■ ブルクリックすると「プログラムの追加と削除のプロパティ」画面が表示されます。

一覧表示の中から PLUS TOOLBOX を選択し[削除]をクリックすると追加と削 除ウイザード画面が表示されます。

ウイザードの [削除] のラジオボタンを選択し [次へ] をクリックするとアンイン ストールが開始しされます。

お知らせ

※ Windows XP/Vistaの場合は、「プログラムの追加と削除」となります。
※Windows Vistaの場合はアンインストーラを起動する度にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。「続行」
を選択してアンインストールを続けてください。

メニュー画面の名称とはたらき

専用ソフトウェア「PLUS TOOLBOX」のインストールが終わっているパソコンと本機とを接続すると 「PLUS TOOLBOX」のメインメニューが表示されます。



① スキャンボタン

投影画像合成画面を表示します。

はい: パソコン画面に表示(プロジェクタ投影)の画像とシート面の手書 き画像の取り込みを開始します。

いいえ: シート面の手書き画像のみ取り込みを開始します。(プロジェクタ 投影画像との合成はされません。)

≥(閉じる): 投影画像合成画面を閉じます。

2 マークボタン

投影画像の位置決め○印の表示を切り替えます。 クリックするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。 初期設定は「表示」です。

③ 送り/停止ボタン

シートを1面分左にスクロールします。スクロール中に押すとスタート位置に戻ります。

③ 設定ボタン

クリックすると設定画面を表示します。 設定画面には、「機器設定」「ヘッダー/フッター」「本体アップデート」「セキュリティ」のタグがあります。 タグをクリックすると、クリックした画面に変わります。

ご注意 「セキュリティ」を設定する場合には、弊社の「お問合せセンター」にお問い合わせください。

機器設定:

本機の動作環境を設定します。20ページ参照

設定 機器設定 キャプチャ設定 ヘッダー/フッター	本体アップデート セキュリティ
出り設定 カラー 「 モノクロ 「 ガラー 「 ガラー 「 満く	
日付時刻服定 2008/09/18 182026	比率設定 で 板面のイメージ通J で 用紙サイズに合わせる
現在日時の読み込み	印刷版定 - 用紙サイズ - G A4 C レター
(のあり) (のあり) (のあり)	比率設定 ○ 板面のイメージ通り ○ 用紙サイズに合わせる
カラーモード禁止 ④ 無効	初期値に戻す 設定
	閉じる

投影画像合成		X
合成しますか?		
[]au∭	いいえ心	



キャプチャ設定:

合成画像を作成するときの設定です。18ページ参照

(1) プロジェクタモニター選択

プロジェクタに接続しているモニターの番号を選択しま す。 初期設定は「ディスプレイ1」です。接続モニター数は

本ソフトウェアが自動で検索します。

(2)位置検出指定色選択

プロジェクタ投影画像の位置を検出する○印の色を選択 します。 「指定色なし・赤・緑・青・黒」から選択します。初期

設定は「指定色なし」です。 [OK] ボタンをクリックせずに閉じた場合は、設定した内容は保存されません。

(3)0K

設定を確定します。 (4)閉じる

設定画面を閉じます。

ヘッダー/フッター:

ヘッダーおよびフッターの新規作成や編集する場合に使います。23ページ参照



(1)

設定		
機器	毀定│キャプチャ設定 ヘッダー/フッター│本体アップデート│セキ:	ュリティ
	新規	
	編集	
	設定	
	R\$K	_
	康元) 关	_

		開じる

本体アップデート: 本機内蔵のプログラムを更新する場合に使います。

31ページ参照

設定		
本体アップデート		
	本体プログラムバージョン IPUバージョン	
ファイルを開く		
更新		
		閉じる



- ② (ヘルプ) 操作説明を表示します。
- ⑥ (最小化)
 メニュー画面を最小化し、タスクバーにアイコンが表示されます。
- ⑦ 【(閉じる) プログラムを終了します。
- デバイス表示 接続中の機種名を表示します。



合成画像表示画面

合成画像表示画面は、[投影画像合成]画面で「はい」をクリックしシート面の手書き画像がパソコンに取り込まれると表示します。



① ファイルメニュー

(機種名 C-12Wの合成表示画面です)

 上書き保存(S)
 :現在の名前で上書き保存を行います。

 名前をつけて保存(A):別の名前や別の場所に保存を行います。

 印刷(P)
 :パソコンに接続されているプリンタで印刷を行います。

② 保存ボタン

保存データがある場合は上書き保存を行います。保存データがない場合は、保存画面を開きます。

③ アスペクトボタン

合成画像の横の比率を切り替えます。押すごとに「シート面と同じ比率画像」と「横を3/4サイズにした画像」が切り 替わります(C-12Wのみ有効)。 保存時は選択している比率で保存されます。 初期設定は「シート面と同じ比率画像」です。

メニュー画面の名称とはたらき

④ 全画面表示ボタン

合成画像を全画面表示します。画面上でクリックすると元のウインドウサイズに戻ります。 ※全画面表示は合成した画像をプロジェクタで投影する際に使用すると便利です。 初期設定はウインドウサイズです。

⑤ キャプチャーボード取り込み画面

スキャン操作をして取り込んだシート面の手書き画像データが表示されます。

⑥ パソコンキャプチャー画面

プロジェクタで投影しているパソコンの画面、ポインタ(⑦~⑨)は⑥パソコンキャプチャー画面を左クリックすると 表示し、右クリックすると消えます。 ポインタをドラッグしてサイズや歪みを微調整します。 位置の移動はポインタ以外をドラッグします。

⑦ 横サイズポインタ

横方向のサイズを補正します。

⑧ 縦サイズポインタ

縦方向のサイズを補正します。

⑨ アフィンポインタ

斜めに歪んでいる画像を補正します。

11 🗖 (最小化)

合成画像表示画面を最小化し、短いタイトルバーがタスクバーの左上に表示されます。また、ウインドウサイズで表示 されているときにメインメニューの最小化アイコンをクリックするとタスクバーに合成画像表示画面もアイコンで表示 されます。

① (最大化)

クリックするごとに画像表示画面(ウインドウ)が最大表示と元の大きさに切り替わります。

12 🛛 (閉じる)

合成画像表示画面を閉じます。 合成画像を保存せずに閉じた場合は、合成画像は破棄されます。



本機にプロジェクタを投影してプレゼンテーションを行い、記録をパソコンに保存する方法を例にしています。 操作の前に各機器との接続をし、各機器の電源を入れてください。

キャプチャー画像を合成する

パソコンの画像をプロジェクタから投影する

①パソコンを操作し、プロジェクタで投影する資料を用意します。

② プロジェクタ投影画面の大きさや表示位置などを調整します。 プロジェクタの使いかたは、プロジェクタの取扱説明書をご覧ください。



お知らせ

- パソコンからの投影画像は全画面表示(画像をパソコンの画面一杯に表示する、ツールバーなどを 表示させない)の選択をお勧めします。全画面表示でない場合、ツールバーなども合成されます。
 詳しくは、パソコンや使用アプリケーションソフトの説明書をご覧ください。
- ノートパソコンの画面がプロジェクタから投影しない場合やノートパソコンの画面が消えた場合は、パソコンの外部出力の設定を変えてください。
 Windowsの場合は通常ファンクションキーの[Fn]を押しながら[F1]~[F12]のいづれかのボタンを押して切り替えます。[F1]~[F12]はパソコンのメーカーによって異なります。
 詳しくはお使いのパソコンのヘルプをご覧ください。
- プロジェクタのデジタル拡大機能を使った投影画像と合成しても拡大画像の合成にはなりません。
- プロジェクタは投影画像が傾かないよう水平に設置してください。投影画像が傾いていると合成画像のサイズや位置がずれるおそれがあります(本ソフトウェアでの調整は可能です)。
- プロジェクタの投影画像はキャプチャーボードの読み取り範囲内に投影してください。
- プロジェクタの投影画像はボード面の縦サイズの2/3以上の大きさで投影してください。
- プロジェクタのオートキーストン(自動台形歪み補正)値が大きい場合、合成画像のサイズや位置 がずれるおそれがあります。

プレゼンテーションを行う

専用マーカーを使って文字や図形をシート面(投影面を含む)に描きます。

合成画像を会議記録として保存する場合、投影画面 の四隅には文字や図形を書き込まないようにしてく ださい。この四隅はあとで位置検出用の○印を描き ます。



基本の操作



- 本ソノトワェアはシート面に描いた○印を使って投影画像とシート面の位置合わせを行っています。
 かすれていたり、途切れている○マークは認識できない場合があります。
- ○マークのそばには文字や図形を書き込まないでください。
- プロジェクタから極端な台形歪みのまま画像を投影している場合○マークは認識できない場合があります。
- ○マークを書かない場合は左上に投影画像が合成されます。
- シートの周囲に描画された内容は取り込めない場合があります。詳しくは本機の取扱説明書の「読み取り許容範囲」についてをご覧ください。
- 動画はパソコンキャプチャー画像として取り込むことはできません。





[機器設定]でカラーモード禁止を「有効」に設定している場合はモノクロになります。

- 読み取り濃度の設定は、本体操作部の濃度ボタンを使います。
- [機器設定] でヘッダー/フッターを「あり」に設定しているときは(22ページ参照)、合成画面にヘッダー/ フッター情報を表示します。この場合は、保存や印刷も行います。



- 始めて保存する場合はクリックすると[名前を付けて保存] ボックスを表示します。
 「保存する場所」「ファイルの種類」を選択し、ファイル名を 入力してから[保存]ボタンをクリックします。
 ファイルの種類は[▼]ボタンをクリックして「PNG」
 「JPG」「PDF」を選択します。
- ファイル名は[機種名+日付+連番](例:C-12_081021_01) が自動で表示されます。必要があれば変えてください。
- 同じファイル名の保存データがある場合は上書き 保存されます。
- 新規フォルダを作成する場合は[新しいフォルダの作成]ア イコンをクリックし、新規作成フォルダにフォルダ名を入力 してから[開く]をクリックします。
 次にファイルの種類を選択し、ファイル名を入力をしてから [保存]をクリックします。
- メニューバーの [ファイル] からは [上書き保存] または [名前をつけて保存] が選択できます。



次ページに続く



手順7の続き

これで本機のシート面の手書き画像データとプロジェクタ投影 画像の合成画像が保存できました。



この保存画像を使って会議報告書や資料を作成することができます。

印刷する

印刷はパソコンと接続しているプリンタで印刷を行います。

ツールバーの [ファイル(E)] から [印刷(P)] を選択してください。

印刷設定画面が開きます。

②[印刷]ボタンをクリックすると選択した画像を印刷します。

用紙サイズや向き、カラー印刷の品質などは、[詳細設定] ボタンをクリックして表示された画面で設定できます。 この画面は、プリンタにより異なります。

お知らせ

合成された画像はキャプチャーボードとそれに接続しているプリンタを使って直接印刷することはできません。





終了する

☑ (閉じる)をクリックすると合成画像表示画面が閉じます。 合成画面を保存せずに閉じた場合は、合成画像は破棄されます。

次のシート面でキャプチャーする場合は、手順4から行います。

メインメニューのアイコンを区 クリックするとプログラム

本ソフトウェアを終了する



ご注意

が終了します。

他のTWAIN対応アプリケーションソフトを使用し画像データを取り込む場合のご注意

PLUS TOOLBOX が起動中、または、タスクトレイに常駐中に、他の TWAIN 対応アプリケーションソフトから、画像データを取り込む際、 エラーメッセージ「USB をオープンできませんでした」が表示されます。

この場合は、タスクトレイのPLUS TOOLBOX アイコンを右クリック し、PLUS TOOLBOX を終了させてから、画像取り込みを開始してく ださい。





キャプチャー画像を微調整する

合成画像表示画面上でパソコンキャプチャー画像とキャプチャーボード取り込み画像(ボード面に書き込ん だ文字や図形など)との位置がイメージと異なっている場合には、合成画像表示画面でパソコンキャプチャ 一画像の位置やサイズの変更を行います。



合成画像表示画面

画像の表示位置を調整する場合

パソコンキャプチャー画像を目的の位置にドラッグします。

画像のサイズや歪みを調整する場合

パソコンキャプチャー画像を左クリックするするとポインタ(8箇所)を表示します。 ポインタをドラッグして調整します。 ポインタを消すには右クリックします。

【縦に伸ばすとき】

中央の上または下のポインタをドラ ッグします。



【横に伸ばすとき】

中央の左または右のポインタをドラ ッグします。



【斜めに伸ばすとき】

四隅のポインタをドラッグします。



(お知らせ)

本ソフトウェアはキャプチャーボードのシート面に書いた手書き画像をパソコンに転送した画像と、パソコン画面(プ ロジェクタ投影用に出力する画面)をパソコン上で合成画像を作成します。 プロジェクタ投影画像の台形歪み(横歪み/縦歪み)を調整するとパソコン画面からの出力画面より僅かに小さくなり ます(歪み補正の大小により変わります)。これはプロジェクタの補正特性によるものです。

このため位置マッチングや画像サイズが僅かに異なります。これを調整するのが位置移動調整や画像サイズ調整です。



投影するプロジェクタに投影するモニターの選択と位置検出用の〇マーク色の選択が行えます。



ます。





本機の動作環境の設定をパソコンから行います。工場出荷時は下記に設定されています。

機器設定項目	設定内容	工場出荷状態
カラー	読み取りカラーモード カラー/モノクロ	モノクロ
濃度	読み取り濃度 標準/濃い	標準
日付時刻設定	日付時刻スタンプの年月日と時刻を設定	日本標準時間
画像形式	USBメモリに保存する画像の形式を設定する	
	JPEG/PNG/PDF	PNG
用紙サイズ	A4/レター	A4
比率指定	印刷する画像の比率を設定する	
	板面のイメージ通り/用紙サイズに合わせる	用紙サイズに合わせる
消し忘れ防止	裏面シートの消し忘れ防止機能(あり/なし	なし
カラーモード禁止	カラーモードでの印刷・保存を無効にする(無効/有効)	無効
解像度	メモリ保存画像およびPC接続時の転送画像の解像度の選択	標準
	標準:読み取り画像の縦・横の1/2サイズ	
	高解像度:読み取り画像の縦・横の1/1サイズ	
ヘッダー/フッター	工場出荷時:印刷・保存時の日付時刻の書き込み あり/なし	あり
(日付時刻タイムスタンプ)	オリジナル編集時:ヘッダー/フッター情報の出力 *	

* ヘッダー/フッター情報の一部に日付時刻タイムスタンプを、任意で表示ができます。 工場出荷時は日付時刻スタンプのみ表示します。

本機の電源を入れ、パソコンを立上げてからUSB接続をする。

パソコンに「PLUS TOOLBOX」のメインメニューを表示します。



[設定] ボタンをクリックする。

[機器設定] 画面が表示されます。

目的の項目をクリックして選択する。

ラジオボタンは をクリックすると に変わります (項目内で1つのみ選択できます)。

●出力設定

カラーモード:出力される画像の色を設定します。 カラー……赤、緑、青、黒の4色 モノクロ…黒1色 濃度:出力される画像の濃さを設定します。

標準設定にて出力される画像が薄い場合に「濃 い」設定にしてください。

●印刷設定

本機と別売のプリンタを接続した場合に動作します。

用紙サイズ

A4用紙サイズで印刷するかレターサイズで印刷する かの選択です。



機器設定 キャブチャ設定 ヘッダー/フッター ┌出力設定	本体アップデート セキュリティ □ _ データ設定
カラー 濃度 ○ モックロ ・標準 ○ <u>万ラー</u> ご 濃く	新修度 「 構築 「 「 保楽 「 「 」 「 「 作標集 「 「 「 市解像度 「 「 市解像度 「 「 市解像度 」 「 日本時定 」 「 」 日本時定 」
2008/09/18 ▼ 182026 ÷ 現在日時の読み込み	 ○ 板面のイメージ通り ○ 用紙サイズに合わせる -印刷版定 -用紙サイズ - 用紙サイズ - 「A4 ○ レター
ヘッダー/フッター 「なし」 「あり」 カラーモード茶止 こまた たまた の ラリ	比率設定 C 板面のイメージ通り C 用紙サイズに合わせる
	- 初期値に戻す - 設定 - 開じる



比率設定(型名:C-12W)

ワイドタイプのコピーボードのときのみ選択できます。 印刷するときの画像の縦/横の比率(アスペクト)の選択です。 「板面イメージ通り」は本機シート面と同じ比率で印刷されます。 「用紙サイズに合わせる」はA4サイズまたはレターサイズ用紙の 比率に横方向を圧縮して印刷します(例:正円は楕円になります)。



●日付時刻設定

現在の日付と時刻の設定です。

現在日時の読み込み

[現在日時の読み込み]をクリックすると、パソコンの現在時刻の表示に変わります。このため、日付時刻の設定が不要となります。

日付の設定方法

- 1. 日付欄の [▼] をクリックするとカレンダーを表示します。
- カレンダーの [◀] または [▶] をクリックして今日のカレンダー(西暦 と月)を選びます。
 - ・12月のとき [▶]をクリックすると次ぎの西暦にかわります。
 - ・1月のとき [◀] をクリックすると前の西暦にかわります。
- 3. 今日の日付をクリックします。
 - ・クリックするとカレンダーが閉じ、今日の日付に変わります。

時刻の設定方法

工場出荷時には時刻は日本標準時間に設定されています。 本機の時刻は24時間表示です。[▲]をクリックすると戻り、[▼]クリック すると進みます。

- 1. 時刻欄の「時(例:18)」をクリックすると「時」にグレイのカーソルが表示されます。
- 2. 時刻欄の [▲] または [▼] をクリックして現在の「時」を選びます。
- 3. つづけて「分(例:09)」をクリックすると「分」にグレイのカーソルが移 ります。
- 4. [▲] または [▼] をクリックして現在の「分」を選びます。
- 5. つづけて「秒(例:18)」をクリックすると「秒」にグレイのカーソルが移 ります。
- 6. [▲] または [▼] をクリックして現在の「秒」を選びます。

(お知らせ)

時刻は [設定] ボタンをクリックしたときから設定時刻が開始されます。

●カラーモード禁止

シート面を読み取るときにカラーで読み取るか/モノクロで読み取るかの設定です。カラーモード禁止を「有効」にすると、 印刷、USBメモリ保存、パソコンへの転送画像がモノクロ(グレイの階調)になります。

無効:カラーモードで読み取ります。

有効:モノクロモードで読みとります。

	日作
2008/01/01	•
0:00:00	0
用た口時の注入りな	一日作
-77.1I U "TU JELOT 1 COT	



日付時刻設定	日代
	•
2/29/2008	
18:09:18	
	日代
-7.11 C . TU / 5/207 / CO7	G



●データ設定

解像度

USBメモリ保存画像およびPC接続時の転送画像の解像度の選択です。

標準: :読み取り画像の縦・横が1/2サイズになります。高解像度選択時の1/4の画像データ量になります。

高解像度 :読み取り画像の縦・横が1/1サイズになります。標準選択時よりきれいな画像になります。

画像形式

USBメモリに保存する画像形式JPEG(拡張子 .jpg)、PNG(拡張子 .png)またはPDF(拡張子 .pdf)の選択です。 PC接続時のスキャン画像は取得データ保存時に選択できます。

●比率設定(型名:C-12W)

ワイドタイプのコピーボードのときのみ選択できます。 USBメモリ保存画像およびPC接続時の転送画像の縦/横比率(アスペクト)の選択です。 「板面イメージ通り」は本機シート面と同じ比率になります。 「用紙サイズに合わせる」はA4サイズまたはレターサイズの比率に横方向を圧縮します(例:正円は楕円になります)。

●ヘッダー/フッター

日付時刻スタンプの書き込み(工場出荷時)、または本体に保存しているヘッダー/フッター情報を出力するか、しないかの 設定です。

なし:ヘッダー/フッター情報を出力しません(日付時刻スタンプも含む)。

あり:印刷、USB保存、PC接続時の転送画像の全てにヘッダー/フッター情報を出力します。

(お知らせ)

 用紙の上下の余白にタイトルや社名、日付等の文字や画像を入れてどのページも同じ情報の印刷をします。これをヘッダー(上部情報)・フッター(下部情報)といいます。本ソフトウェアで作成して本体に保存しておきます。 作成方法は「ヘッダー/フッターの作成と編集」(23ページ)をご覧ください。

● プリンタの機種によっては、実際の画像イメージと異なる配色になることがあります。

●消し忘れ防止

本体のシート裏面に描かれた文字や図形の消し忘れをお知らせする設定です。機密性のある会議などに効果的です。

- なし: 消し忘れ機能は動作しません。(工場出荷時の設定)
- あり: 電源ボタンを押して電源を切ると、本体操作パネルの表示窓と全ての表示ランプが同時に点滅し、未消去面まで 自動的に移動してから、電源が切れます。

(お知らせ)

```
● シート溶着部の汚れ、マーカーの消し残しによっては、正しく消し忘れ防止機能が動作しない場合があります。
```

[設定] する。

目的の項目の設定内容を確認し、よければ[設定]ボタンをクリックします。

- 変更をしない場合は [閉じる] をクリックしてく ださい。変更内容がキャンセルされます。
- すべての設定を工場出荷状態に戻す場合は[初期 値に戻す]をクリック後、[設定]をクリックして ください。

設定 機器設定 キャプチャ設定 ヘッダー/フッター	本体アップデート セキュリティ
D Japze D Japze プラー マ	
日付時刻順定 2008/09/18 182026 現在日時の読み込み ヘッダー/フッター 冷 こねし こなし こあり カラーモード薬止	比率設定 ・
◎ 無効 ○ 有効	<u>初期値に戻す</u>

ヘッダー/フッターの作成と編集

印刷用紙の上下に印刷するヘッダー/フッターの新規作成と編集を行います。工場出荷時は日付時刻スタンプの み本体に登録されています。

TOOLBOXで作成したヘッダー/フッター情報を更新して、ヘッダー/フッター機能を「あり」に設定すると 印刷、USBメモリ保存、パソコンへの転送画像にいつも同じ情報を表示することができます。 本体と接続していなくても作成と編集は行えます。

画面各部の名前と働き

TOOLBOXメニューの [設定] → [ヘッダー/フッター編集] をクリックすると 「ヘッダー/フッター編集」 画 面を表示します。



●ヘッダー/フッター編集ボックス

① 新規ボタン

新規にヘッダーおよびフッターを作成するときにクリックします。「ヘッダー/フッター編集ボックス」を開きます。

② 編集ボタン

パソコンに保存しているヘッダー/フッターファイル(拡張子.hfd)を編集するときにクリックします。 パソコンの「ファイルを開く」画面でヘッダー/フッターファイルを選択すると「ヘッダー/フッター編集ボックス」 を開きます。

③ ヘッダー編集ボックス/④フッター編集ボックス

ヘッダーおよびフッターの文字や画像を挿入します。ヘッダーとフッターの入力切り替えは文字ボックスや画像ボック ス以外の所をクリックすると、ヘッダー/フッター選択カーソルが移動します。

⑤ ツールボタン

🛃 名前をつけて保存	パソコンの「名前をつけて保存」画面が開きます。
📕 上書き保存	編集内容を書き替える場合に使います。編集前のファイルを開いていない場合は、ア
	イコンがグレイで表示し選択できません。
・ 元に戻す (Undo)	編集した内容を直前の操作から順に戻します(2回まで)。

23

ヘッダー/フッターの作り	式と編集	
附 やり直し(Redo)	「元に戻す」で戻した操作を順に再び実行し	します。
── 削除	選択した図形/画像や文字ボックスを削除し	します。
▶ テキスト追加	テキスト入力画面を開きます。この画面を 大きさなどを選択します。下記「テキスト テキスト入力の [OK] をクリックすると約 配置されます。	使って文字を入力しフォントの種類や文字の 入力のツール」をご覧ください。 編集ボックスの左上にテキストボックスとして
	・編集ボックスのテキストボックスをダブ ます。文字を修正する場合にダブルクリ	ルクリックするとテキスト入力画面を表示し ックします。
	・テキストボックスは透過です。文字以外	は後のオブジェクトを表示します。
	・テキストボックスは複数配置できます。	
🛃 イメージの挿入・編集	パソコンの「ファイルを開く」画面が開き JPEG, PNG, GIF, WMF, EMFです。 画像を選択して決定すると編集ボックスの ・画像ボックスは複数配置できます。	ます。挿入可能なフォーマットはBMP, 左上に画像ボックスとして配置されます。
31 - 日付時刻の挿入	ヘッダー編集ボックスまたはフッター編集 [▼]をクリックしてプルダウンメニューカ	ボックスのどちらか1箇所に挿入できます。 から日付時刻の表示形式を選択します。
	表示形式	スタンプ例
	YYY/M/D/ HH:MM	2008/10/5 13:25
	DD-MMM-YYYY HH:MM	05-0ct-2008 13:25
	MMM-DD-YYYY HH:MM	Oct-05-2008 13:25
	日付時刻の挿入をクリックすると、ヘッダ スは右上に挿入されます。 ・挿入すると日付時刻の挿入ボタンはグレ ・日付時刻は非透過で前面に表示されます ・フォントやサイズなどは固定で配置のみ	ー編集ボックスは右下、フッター編集ボック イになり選択できなくなります。 。 調整できます。
🔳 ヘッダー、フッター背景	そ色指定 クリックすると背景色選択メニューリックするとヘッダー編集ボックスまたはした色で塗りつぶします。 ・背景色は複数配置できます。 ・グリッド線を表示しているとき編集ボッが見えなくなりますので、画像やテキスを挿入してください。 	ーを表示します。48色の中から目的の色をク フッター編集ボックスのボックス一杯に選択 クス全面を背景色にする場合は、グリッド線 トボックスの配置調整が終わってから背景色
── - 仕切り線の挿入	 [▼]をクリックしてプルダウンメニューた 仕切り線の挿入をクリックするとヘッダー は上部にボックス幅一杯に挿入されます。 ・仕切り線は複数配置できます。 ・仕切り線の色は変更できません。 	から線幅(細、中、太)を選択します。 編集ボックスは下部、フッター編集ボックス
# グリッド線の表示	テキストや画像ボックスなどの配置用のグ	リッド線です。
_	・ グリッド線は 保存しません。 ・グリッド線は1番後に表示されます。	
● 画像・図形(仕切り線/ ボックスはサイズを変更	✓背景色)・テキストを挿入すると各々ボッ: €したり重ね順を入れ替えることができます。	クスとして編集ボックスに配置されます。この 、25ページ参照

⑥ テキスト入力ツール

クリックすると文字色選択メニューを表示します。256色中から目的の色をクリックするとテキスト入力ボックス内全部の文字色が変更されます。
の指定 [▼]をクリックしてプルダウンメニューからフォントを選択します。テキス ト入力ボックス内全部のフォントが変更されます。
[▼]をクリックしてプルダウンメニューから入力言語を指定します。テキスト入力ボ ックス内全部のフォントが変更されます。
ご注意 テキスト入力中に言語の設定を「日本語」から「欧文」に変更すると入力画 面がリセットされます。

ヘッダー/フッターの作成と編集

24 うけい フォントサイズの指定 [▲] または [▼] をクリックして文字の大きさを指定します。

テキスト入力ボックス内全部のサイズが変更されます。

- ・数字はポイントです。
- ヘッダー編集ボックスまたはフッター編集ボックスの高さを超えるサイズは指定できません。

 B
 太字の指定
 クリックするごとに [太字] と [標準] が交互に変わります。テキスト入力ボックス内

 全部のテキストが変更されます。

ノリックするごとに [斜体] と [標準] が交互に変わります。テキスト入力ボックス内 全部のテキストが変更されます。

●サイズの変更と重ね順の入れ替え











IOOL BOX

オブジェクトの移動

オブジェクトをドラッグします。

オブジェクトの左右方向の調整 左右どちらかのポイントをドラッグします。

オブジェクトの上下方向の調整 上下どちらかのポイントをドラッグします。

オブジェクトの拡大/縮小 隅のいずれかのポイントをドラッグします。



オブジェクトの重ね順の変更

挿入画像は非透過でテキストは透過します。下にあるテキスト等を重 ねて表示するには、オブジェクトを右クリックします。重ね順メニュ ーを表示しますので[最前面に移動]または[最後面に移動]を選択 します。

・グリッド線と背景色の表示順は固定です。重ね順を変更することは できません。

⑦ 開くボタン

パソコンの「ファイルを開く」画面を表示します。 本体へ格納するヘッダー/フッターのファイル(拡張子 .hfd)を選択してください。 ※本体とパソコンがUSB接続されていることと本体の電源が入っていることを確認してください。

⑧ 転送ボタン

本体へヘッダー/フッター情報を転送します。 転送が開始され、転送状況バーで進捗状況を知らせます。転送中本体の表示窓は「HF」を点滅します。 転送が完了すると確認画面を表示しますので[OK]をクリックします。 次に本体の「保存」ボタンを押すと本体の表示窓は「H1」表示にかわり格納が完了します。 本体のいずれかの操作ボタンを押して通常モードに切り替えます。

⑨ 閉じるボタン

設定画面を閉じます。



ヘッダー/フッターを新規作成する

次のサンプルで説明します。ヘッダー/フッターは本体と接続していなくてもの作成や編集は行えます。



※ロゴはパソコンで画像を作成し、画像フォーマットBMP, JPEG, PNG, GIF, WMF, EMFのい ずれかで保存しておきます。





ヘッダーおよびフッターを作成する
 開いたときはヘッダー編集ボックスが選択されています。
 フッターを作成する場合はフッター編集ボックスをクリックしてください。紺色の枠がフッターに移動します。
 ① ③ (イメージの挿入)をクリックしてパソコンの「ファイルを開く」画面から目的の画像を選択します。
 画像が編集ボックスの左上に配置されます。

② 〇 (テキスト追加)をクリックしてテキスト入力ボックスを開き、文字を入力して (文字色指定)をクリックして文字色を指定し、[OK]をクリックします。テキストが編集ボックスの左上に配置されます。位置を調整します。文字と画像が重なり合って文字が隠れている場合は、文字を前面に出します。25ページ「サイズの変更と重ね順の入れ替え」参照

位置や大きさを調整します。25ページ「サイズの変更

と重ね順の入れ替え」参照





他のテキストも同じ要領で入力配置します。
 文字サイズや文字色等を変える場合は各々作成します。



④ 3 (日付時刻の挿入)の (▼)をクリックして日付時刻の表示形式を選択してから 3 (をクリックします。編集ボックスの右下に挿入されます。日付時刻ボックスは常に一番前に配置され非透過です。位置の移動は可能です。 日付時刻を挿入すると 3・はグレイになり複数の配置ができないことを示します。

⑤ (ヘッダー、フッター背景色指定)をクリックしメニューの中から目的の色をクリックするとヘッダー編集ボックスまたはフッター編集ボックスのボックス一杯に選択した色で塗りつぶします。 大きさや位置を調整します。

RUS XX-0123 製品計画会議 ^{第四技術部} 2008/10/3 09:34

製品計画会議

第四技術部 2008/10/3 09:34

> 第四技術部 2008/10/3 09:34

PLUS XX-0123 製品計直 会議

ヘッダー/フッターの作成と編集

手順3の続き

⑥ フッターを作成するときはフッター編集ボックスをクリックして紺色の枠を移動させてください。

ヘッダーと同じ要領で作成します。



パソコンに保存する

[アイコン](名前を付けて保存)をクリックします。 パソコンの「名前を付けて保存」画面を表示します。 保存先やファイル名とファイルの種類(ヘッダー/フ ッターファイルは .hfd です)を設定して[保存] ボ タンをクリックします。

名前を付けて保存					? 🛛
(保存する場所①	🗋 マイ ドキュメント		•	🗕 🗈 💣 💷	
最近使ったファイル デスクトップ デスクトップ マイ ドキュメント マイ ニンピュータ マイ ネットワーク	→ My Scans → Dittarinp → Dittarinp → マイ ビジオ ▼イ ビジオ ▼イ ミュージック				
	ファイル名(11):	EXPLUS_Vision_01		•	<u>保有</u> @
	ファイルの種類(工):	ヘッダファイル (*hfd)		•	





本機内蔵のヘッダー/フッター情報を更新する

本体とパソコンをUSB接続して本体に転送する方法、USBメモリに保存してUSBメモリを直接本体のUSBポ ートに挿す方法があります。

本体とパソコンをUSB接続して更新する

1

ヘッダー/フッターファイルを開く

①本体とパソコンをUSB接続してください。接続は5ページ参照

- ② メインメニューの [設定] ボタン→ [ヘッダー/フッター] タグをクリックしてヘッダー/フッター画面を表示させてください。
- ③ [開く] をクリックするとパソコンの「ファイルを開く」画面を表示します。目的のヘッダー/フッタファイル (拡張子.hfd)を選択し、「ファイルを開く」画面の [開く] ボタンをクリックします。

NUMBER OF CLUATOL
 最近低かたアイル です アスクトッフ マイトキュント マイトキュント マイトキュント マイ コンピュータ マイ コンピュータ マイ コンピュータ
マナイル名(型) PLUS_01 マ フナイル名(型) PLUS_01 マ フナイルの複類(型) HeaderFile (Hrd) マ キャンペ

ヘッダー/フッターファイルを本体に 転送する

[転送] ボタンをクリックします。 転送を開始します。転送が完了すると確認画面を表示 しますので [OK] をクリックします。 転送中本体の表示窓は [HF] を点滅します。

本体への転送は完了しました。 本ソフトを終了するときは16ページ手順9をご覧く ださい。



ヘッダー/フッター情報を更新する

本体操作パネルの[保存]ボタンを押します。 本体表示窓の[HF]点滅が[H1]表示に変わります。 これで更新が終了しました。

本体操作パネルの[保存]、[送り]以外のボタンを押 してください。本体表示窓の[H1]が[PC]表示に 変わり通常モードになります。

ヘッダー/フッターの初期設定(日付時刻表示のみ) へ戻す場合は、「送り」ボタンを押します。 本体表示窓の[HO]表示に変わります。





USBメモリから更新する

- USBメモリにヘッダー/フッターファイルを保存します。
 USBメモリのフォルダ内には保存しないでください。本体の USBポートにUSBメモリを挿すと.hfdファイルを探しに行 きますので、フォルダ内に保存すると読み込みができません。
 また、目的のファイルのみ保存してください。複数のヘッダ ー/フッターファイルが存在すると読み込めません。
- 保存したUSBメモリを本体のUSBポートに挿します。 ヘッダー/フッターファイルを見つけると本体の表示窓は [HF]を点滅します。
- ③ 本体操作パネルの[保存]ボタンを押します。
 ヘッダー/フッター情報の更新が完了すると本体表示窓が
 [H1] に変わります。

本体操作パネルの[保存]、[送り] 以外のボタンを押してく ださい。本体表示窓の[H1]が[PC] 表示に変わり通常モ ードになります。

ヘッダー/フッターの初期設定(日付時刻表示のみ)へ戻す場 合は、「送り」ボタンを押します。 本体表示窓の[HO]表示に変わります。



ご注意

ヘッダー/フッター情報を印刷したり、転送画像に付加する場合は[設定]→[機器設定]の[ヘッダー/ フッター]を「あり」にしてください(22ページ参照)。



更新プログラムは、弊社のホームページからダウンロードしてください。

- 準備: 1. 弊社のホームページから「本体アップデート」プログラム"C-12_XX_XX.zip"を ダウンロードしてください。
 - C-12_XX_XX.zipを解凍して、プログラムファイル(c12_XX_XX.mot)を保存してください。
 - 3. 本体の電源プラグがコンセントに接続されている場合は、抜いてください。
 - 4. 送り ∉ ボタンを押しながら、本体の電源プラグをコンセントへ接続してください。
 - 5. 表示窓に「UP」が点滅表示されてから、「本体アップデート」を実施してください。

[本体アップデート] 画面を表示させる パソコンと本機をUSB接続すると自動的に [本体アッ プデート] の画面が表示されます。

設定 (本体アップテート)	
Lasimininininininininininininininini	本(キブログラムバージョン IPUバージョン
ファイルを開く	
更新	
	開じる



- 1. [ファイルを開く] をクリックしてファイルを開く 画面を表示させます。
- 2. C-12のアップデートファイル"c12_XX_XX.mot" を選択し、[開く] ボタンをクリックします。



[更新] ボタンをクリックして更新を開

始する。

更新中は状況バーを表示します。そのままお待ちくださ い。

更新が終了すると本体操作部の表示窓が「^{月月}」点滅表 示になります。

ご注意

更新中は、他の操作(動作)させたり、本体の電源 を切ったりしないでください。 本体が故障する場合があります。

本体の表示窓が「⁸⁸」の点滅表示になってから、 一度電源プラグをコンセントから抜いて、再度入 れ直してください。



セキュリティの設定について

C-12セキュリティソフトを使用することにより、お使いの機器にUSBメモリ/PC接続/追加印刷に有効、 無効の制限をかけることができます。

ソフトウェアの入手につきましては、登録が必要です。

詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。 http://www.plus-vision.com/jp/

	,		設定
有効	無効	USB又モリ	保存
<u>v</u>	Г	PC接続	保存先
V	Г	追加印刷	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

ご注意

● セキュリティ設定は、本機のUSBメモリ/PC接続にセキュリティの設定ができます。管理者以外の人が解除したり無許可で設定できないように、また、パスワードの管理などの面を考慮して本機では、弊社へのお問い合わせにてこのセキュリティ機能が使えるようになりますのでご了承ください。 また、セキュリティ設定はUSBメモリ経由で行うこともできます。

PLUS Vision Corp.

プラスビジョン株式会社 〒206-0811東京都稲城市押立1033-1 www.plus-vision.com



ISO 14001 認証取得

ISO 9001 認証取得